

■……わが国の経済は「先行き不透明」なぞうで。これは去る10月末国際通貨基金（IMF）の会合でアメリカさんのご託宣、「日本経済はデフレと低成長の2つの課題に直面している」とおっしゃっているそうです。とはいえ日本経済は消費税増税による落ち込みはあるものの景気は緩やかに回復しているのは事実。庶民の生活実感からもそうですよねみなさん。

■……世界経済全体の前年比成長率は3・3%、日本は0・9%（ユーロ圏の0・8%といひ勝負。低いのはロシア0・2%、ブラジル0・3%、高いのは米国の2・2%で、もつと上が中国7・4%、インド5・6%。米国頼みの世界といったところでしようか。中国（13億人超）、インド（8億人超）の人口だけに、どれだけおカネが末端庶民に行き渡っているかは大いに疑問。

■……「日本の基準値を10倍上回る」——これは中国の大気汚染のこと。さる10月19日、実施された中国の北京国際マラソンの時、微小粒子状物質「PM2・5」を含む汚染指数が

最悪基準（危険数値）300を超して400台になったぞうです。当日、参加取りやめやマスクをかけてのランナーが目を見ました。日本青年（33）でハーフマラソンに参加した会社員は「せつかく申し込んだので参加したが、のどが痛くなって死ぬ思いだった」とか。日本ではPM2・5の環境基準値は大気1立方メートルあたり35マイクログラム、それが北京では400-300マイクログラムとか。いやはや……。

■……韓国の火災などによる惨事のひどさは目を覆いたくなりますね。橋崩壊で32人（ソウル市）、地下鉄工事現場のガス爆発で101人（大邱市）、百貨店崩壊で502人（ソウル市）、雑貨ビル火災で55人、地下鉄放火で190人（仁川市）の犠牲者が出たのは1990年代末のこと。今世紀に入っても190人、304人、21人、16人など大型の死亡事故が続いています。セウォル号沈没（死者・行方不明304人）のほ

かはビル倒壊か火災によるもの。日韓間の観光客往来は大変な人気。お互い気をつけないと「命危うし」はかないません。

■……辞任に追い込まれた2人の女性閣僚。安倍政権の「女性が活躍

できる社会」から早々の脱落劇。ついついお2人の登場するテレビに引きつけられ退屈せず。これまでの野郎どもの騒がしい政界劇よりずっとマシな印象を受けました。その直後に橋下大阪市長と「在日特権を許さない市民の会」会長との会談には驚き、あきれ果て、双方の荒々げた怒声の飛び交うさままで、男社会の醜悪さを見せつけられました。これこそヘイトスピーチの典型。両者、とくに市長の教養の無さに絶望。

■……ラグビー選手が交際相手の女性に暴行、プロゴルファーのスコアごまかしでゴルフ保険金100万円を詐取しこれがその道のプロフェッショナルのやることですかね。すべてのジャンルでプロ意識は大切なの、尊敬の対象のはずですが、人間、肩書きや資格では信用できなくなっているのが昨今の風潮のようです。

■……幼児虐待が最近、方々で起こっています。愛知県豊川市内で1歳の赤ちゃんが母親の交際相手の男（31）に頭を強く揺さぶられて、脳に傷が付く脳浮腫で絶命とか。大の男同士の殴り合いならまだしも、いたいけな幼児に暴行。これでは死刑しかありませんね。

月刊公論 MONTHLY
KORON

12月号 第47巻12号

平成26年12月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円（税別） 送料86円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購読をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。